

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1059

学校運営事業（高等学校）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	2	高等教育機関の充実と連携強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		高等学校費	
	目		学校管理費	
	大事業		高等学校管理事業	
	中事業		学校運営事業（高等学校）	

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	市立和歌山高等学校	梅野 作治	461-3690
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）			全体事業概要		
	より良い教育環境の構築及び生徒の学力増進を図る。			より良い教育環境の構築・生徒の学力構築 学校運営に係る経費 人件費及び学校運営に必要な物品購入 委託業務契約等 就学支援金（県補助金）等に係る賃金・社会保険料の支出		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指し、生徒指導の充実・学習指導の充実・環境整備の充実を図る。	人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指し、生徒指導の充実・学習指導の充実・環境整備の充実を図る。	人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指し、生徒指導の充実・学習指導の充実・環境整備の充実を図る。	人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指し、生徒指導の充実・学習指導の充実・環境整備の充実を図る。	人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指し、生徒指導の充実・学習指導の充実・環境整備の充実を図る。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	79,813	69,586	82,668	69,183	76,774	144,920	73,985	0	73,985	0
伸び率（%）	1%	△11.8%	3.6%	△0.6%	△7.1%	109.5%	△3.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,113	9,591	9,987	9,987	8,042	10,192	8,440	0	8,440
	正規職員以外	249	249	3,924	3,924	304	4,639	4,639	0	0
	小計	7,362	9,840	13,911	13,911	8,346	14,831	13,079	0	8,440
国庫支出金	0	0	0	0	0	73,248	0	0	0	0
県支出金	1,535	0	1,151	0	800	761	935	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	98,247	0	97,967	0	98,242	93,948	96,770	0	0	0
一般財源（税等）	△19,969	69,586	△16,450	69,183	△22,268	△23,037	△23,720	0	73,985	0
所要人数 （人）	正規職員	0.89	1.20	1.24	1.24	1.01	1.28	1.06	0.00	1.06
	正規職員以外	0.10	0.10	1.72	1.72	0.14	2.02	2.02	0.00	0.00
主な予算内訳	光熱水費12,788千円 機械等借上料42,269千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
非常勤講師雇用人数 令和2年度より会計年度任用職員講師雇用人数	人	目標値	15	15	8	8
		実績値	15	12	8	
		達成度(%)	100%	80%	100%	%
修繕工事件数	件	目標値	25	25	20	20
		実績値	15	16	22	
		達成度(%)	60%	64%	110%	%
大学進学希望者が進学した割合	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	96.7	96	99	
		達成度(%)	96.7%	96%	99%	%
就職希望者が就職した割合	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	98.2	100	100	
		達成度(%)	98.2%	100%	100%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生徒一人一人の興味・関心・進路等を考慮しながら生徒個々の可能性を引き出せるように、生徒指導・学習指導・環境整備のさらなる充実が必要と考えます。
見直し・改善内容	強化授業を行い生徒の実力アップを図るため、学習内容などを見直し改善していきたい。